

令和6年度事務事業評価（令和5年度事後評価）

地域振興部

所属名	事務事業名	ページ番号
地域政策課	富土地域振興センター運営事業	2
地域政策課	有線テレビ運営事業	3
地域政策課	定住促進対策事業（過疎債）	4
地域政策課	過疎地域活性化対策事業	5
地域政策課	地域おこし協力隊事業	6
地域政策課	諸富地区ふるさと創生基金活用事業	7
地域政策課	富士地区ふるさと創生基金活用事業	8
地域政策課	三瀬地区ふるさと創生基金活用事業	9
地域政策課	東与賀地区ふるさと創生基金活用事業	10
地域政策課	久保田地区ふるさと創生基金活用事業	11

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士地域振興センター運営事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供するとともに、山間地域の豊かな資源を活用した地場産業の生産性の向上及び地域間交流の促進を図る。(指定管理者：株式会社佐賀古湯キャンプ 開館時間：11時～19時(水曜定休))				
事業の対象者	富士地域振興センター利用者				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・富士地域振興センターの修繕及び富士山村広場における救護棟の整備を行った。 ・山村広場への誘導サインの改修を行った。 ・富士地域振興センターの経営改善検討のため、指定管理者の経営診断を実施した。 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,682	11,863	65,558	37,152	
うち佐賀市の負担額	1,682	11,863	24,658	4,803	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
富士地域振興センター宿泊数						泊
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,960	7,000 3,774	7,000 5,890	7,000 8,024	7,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行及び施設設備の充実により、施設利用者が増加し、成果目標を達成することができたと分析する。



成果目標達成に向けた対応策等
更なる利用者獲得のための広報・営業を継続すると共に、施設利用者の満足度を向上させる取り組みを実施していきたい。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

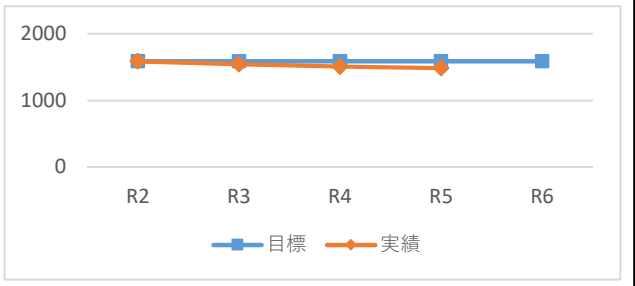
事務事業名	有線テレビ運営事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

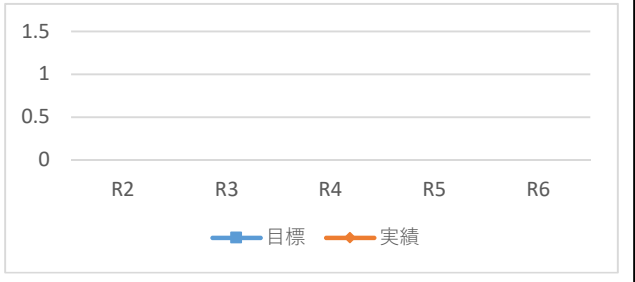
事業概要・目的	地上デジタル放送の地理的難視聴地域である富士町、三瀬村、大和町北部をエリアとして、有線テレビを運営する。施設の管理運営は、佐賀テレビジョン株式会社（ぶんぶんテレビ）を指定管理者として行う。また、佐賀市の伝送路を佐賀テレビジョンに貸し付けることで、同エリアにおいては佐賀テレビジョンのインターネットサービスや多チャンネルサービスに加入することができる。				
事業の対象者	対象エリア（富士町、三瀬村、大和町北部）の住民				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 有線テレビ加入世帯数 1, 4 8 5 件（令和6年3月末時点） 指定管理業務：課金業務、施設・設備の維持管理等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,806	53,319	54,677	54,324	
うち佐賀市の負担額	56,806	53,319	54,677	54,324	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
有線テレビ加入件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,588	1,588 1,545	1,588 1,510	1,588 1,485	1,588		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	デジタル化の進展に伴い、佐賀市有線テレビの契約から佐賀テレビジョンのインターネットサービス等への切り替えが見られるが、一定数の加入者を維持できている。



成果目標達成に向けた対応策等
適正な維持管理を行い、快適なテレビの視聴環境を提供することにより加入者数の維持を図る。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	定住促進対策事業（過疎債）	事業期間	平成 21 ～ 令和 6 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成20年度から「限界集落対策」を少子高齢化や人口減少の傾向が特に顕著な北部の山間部を中心に進めている。北部山間地域（大和町松梅地区・富士町・三瀬村）に定住してもらうことにより、人口減少幅を緩やかにすると共に集落の活性化・コミュニティの維持を図る。				
事業の対象者	北部山間地域（大和町松梅地区・富士町・三瀬村）以外に居住する住民				
令和5年度主な活動実績	・北部山間地域において、空き家バンク制度の運営及び空き家に対する改修費助成を行った。（新規登録物件8件、見学会開催29回（延べ53組103名参加）、成約8件、利用希望者登録数115人（うち新規登録者40人、空き家改修費助成補助実績 9件（改修：7件、不要物撤去：2件）） ・R6年2月に集落支援員（富士町担当者、大和町松梅地区及び三瀬村担当者）を対象に「小さな拠点」をテーマとしたセミナーを行い、日常の集落支援活動の強化を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,645	5,857	9,445	12,843	
うち佐賀市の負担額	1,131	1,139	1,112	1,143	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位		
空き家バンク利用登録者数						人		
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
54	70	70	70	70	96	138	115	70

成果指標②						単位		
空き家バンク新規登録物件数						軒		
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
4	10	10	10	10	9	15	8	10

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	空き家物件の掘り起こし等を担当している集落支援員に集まっていただき、月次会議で空き家情報の交換を行っている。空き家物件はあるが所有者が不明であったり、低頻度ではあるが未だに活用されている等の理由で空き家バンク登録には至らないケースが多い。チラシ等の媒体を使って住人に空き家バンク制度のメリットを訴求し、中山間地域での更なる制度の周知や情報収集が必要と考える。

成果目標達成に向けた対応策等

- ① 空き家物件の間取りを時間・場所を問わず手軽に観られるように、令和6年度から空き家物件の内部を360度カメラで撮影し、WEBで内見する機能を実装し強化を図る。
- ② WEB経由での利用者登録を可能にして、潜在的な利用希望者の登録を促進する。
 上述のようなWEBサイト機能強化を図り、空き家物件情報への容易なアクセスを提供することで空き家バンク制度の可用性を向上させる。また空き家の売買・賃貸のモデルケースを作ることで、近隣の空き家所有者による空き家バンク登録を促進させる。また空き家掘り起こしを支援するために集落支援員のエリアマネージャーと協議し、地元での啓発活動を行い改修費補助、残置物撤去費用補助等の公的な支援策の周知を図る。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

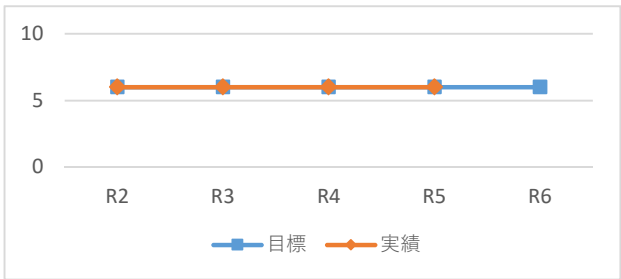
事務事業名	過疎地域活性化対策事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	過疎地域の活性化対策として、住民が自らの地域のことをよく理解し、地域の資源を活かしたまちづくりができるよう、他の地域のまちづくりの事例を見聞したり、住民同士の勉強会や情報交換を行うことで、住民自らがまちづくりについて考え、実践できるように支援する。				
事業の対象者	市民（過疎地域、富士町地区市民、三瀬村地区市民）				
令和5年度 主な活動実績	過疎地域の活性化対策として、住民が地域資源などについて情報収集できるよう、地域の魅力やイベント等の情報発信を行うとともに、地域の活性化に向けたまちづくりの取組への支援などを行った。 ・三瀬村活性化会議（研修会1回（12人参加）、講習会2回（17人参加）、花苗植栽活動） ・地域情報の発信業務（幸報ふじ：発行6回） ・小さな拠点づくり（ヒアリング調査（3団体）、研修会（1回））				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,477	5,906	6,545	2,854	
うち佐賀市の負担額	558	6	45	54	

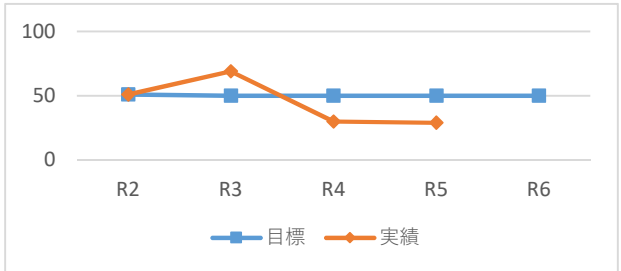
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域情報の発信回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	6 6	6 6	6 6	6 6		



Year	Target	Actual
R2	6	6
R3	6	6
R4	6	6
R5	6	6
R6	6	6

成果指標②						単位
研修会等参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
51	50 69	50 30	50 29	50		



Year	Target	Actual
R2	50	51
R3	50	69
R4	50	30
R5	50	29
R6	50	50

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	研修会参加予定者に高齢者が多く新型コロナウイルス感染症の影響により参加者が少なかったものの、研修会や講習会を通じ、まちづくりについての意識向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き地元住民と行政が現状や課題等の共通認識を持ったうえで、行政主導ではなく一緒に地域活動の活性化を行っていけるよう支援を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業	事業期間	平成 31 ~ 令和 6年度
担当部署・係名	地域政策課 中山間地域支援係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人口減少、高齢化等の進行が著しい本市において、地域外の人材を本市に招致してその定着を図るとともに、若者等の定住及び地域の活性化等を促進する。				
事業の対象者	佐賀市以外の都市圏に居住し過疎地域への移住を希望する若者				
令和5年度主な活動実績	R6年3月末で任期満了により退任した隊員は様々なコミュニティーに参加し、ヨガの指導を行うことで北部中山間地域での健康増進に貢献した。またR5年6月に着任した隊員は集中豪雨の被災者を支援するためにチャリティコンサートを企画し集まった義援金を富士町の被災地支援を行う団体に寄付した。更に北部中山間地域の日常のひとコマを切り取った写真をInstagramに掲載しタイムリーな情報発信を行った。同隊員は東京から一人て来佐し協力隊の任務にあっていたが、令和5年度末に東京から家族3人を呼び寄せ移住者実績増加に寄与した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,770	11,463	11,098	7,437	
うち佐賀市の負担額	10,770	11,463	11,098	7,437	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域おこし協力隊活動者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
3	7	6	6	6	6	
	4	3	2			

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	R5年9月とR6年2月におためし地域おこし協力隊を実施し、それぞれ3名と2名の応募があったが採用には至らなかった。3年後の任期満了時に就業する、または起業するという目標に対して現実的な実行計画が見えてこないことや、与えられるミッションと将来目標との関連性が明確でないことなどが原因であるため、地域おこし協力隊の制度設計の見直しが必要と思われる。

成果目標達成に向けた対応策等

上述③の達成できていない状況分析で記述したように、協力隊としての業務目標到達までのプロセスが明確でないことが、成果目標不達の主要因と考えられるが、「地域おこし協力隊」という名称自体も若年層の心に響いていないと考えられる。そこで視点を変えて、募集形態を「おためし移住」を全面に押し出した内容に変更し、若年層だけでなく家族連れでも気軽に参加できるようなおためしメニューとなるように再検討する。そのオリエンテーションの中で、地域おこし協力隊が移住スタイルの選択肢の一つであること、及び3年間のロードマップを提示し中山間地域での移住生活の基盤を整えることが可能なことなどを説明し、地域おこし協力隊への参画を促進する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市諸富地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の諸富地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	諸富地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和5年度主な活動実績	・諸富地区での地域振興事業や人材育成事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。(R5交付件数：8件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,010	1,719	1,700	1,700	
うち佐賀市の負担額	1,010	1,719	1,700	1,700	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	9 9	9 8	9 8	9		

年度	目標	実績
R2	9	9
R3	9	9
R4	9	8
R5	9	8
R6	9	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	地域振興事業や人材育成事業等の取組がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

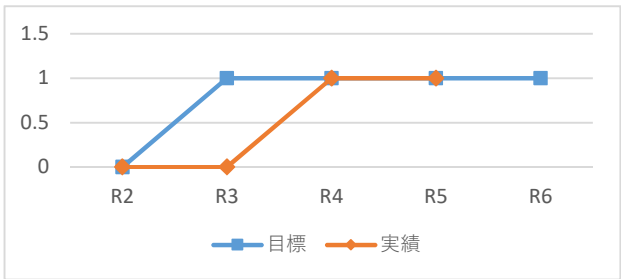
事務事業名	富士地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

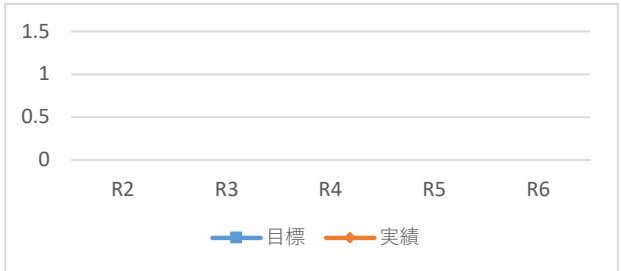
事業概要・目的	佐賀市富士地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の富士地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	富士地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和5年度主な活動実績	・富士地区での人材育成事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R5交付件数：1件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	145	190	
うち佐賀市の負担額	0	0	145	190	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 1	1 1	1 1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	人材育成事業等の取組がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市三瀬地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の三瀬地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	三瀬地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和5年度主な活動実績	・三瀬地区でのコミュニティ施設整備等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R5交付件数：3件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	11,504	1,073	
うち佐賀市の負担額	0	0	11,504	1,073	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	1 3	1 3	1 3	1	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	地域・産業活性化事業等の取組がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市東与賀地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の東与賀地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	東与賀地区に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 東与賀地区でのコミュニティ施設整備等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。(R5交付件数：5件) 東与賀地区内の行事予定及び地域づくり活動の紹介などを記載したカレンダー等を作成し、世帯配布した。(R5頒布実績：12回) 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	888	671	1,317	1,406	
うち佐賀市の負担額	888	671	1,317	1,406	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	2 2	2 5	2 5	2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	コミュニティ施設整備等及びカレンダー作成配付の取組が実施できている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保田地区ふるさと創生基金活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	地域政策課 地域政策係	担当課長名	大野 和孝
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市久保田地区ふるさと創生基金とその運用益を「合併前の久保田地区の豊かな地域づくりに資する」ための事業に充当する。				
事業の対象者	久保田地区内に活動の拠点又は住所を有する団体等				
令和5年度 主な活動実績	・久保田地区での活力ある地域づくり事業等の取組に対して、ふるさと創生基金を財源とした補助金を交付した。 (R5 交付件数：2件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	1,000	1,000	
うち佐賀市の負担額	0	0	1,000	1,000	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活用団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 0	2 2	2 2	2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	活力ある地域づくり事業等の取組がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
基金の有効活用という観点から、地域住民に対し支所等を通じて広報に努めていく。